授業科目	子どものうたあそび					実務家教員担当科目	-
単位	1	履修	選択	開講年次	1	開講時期	後期
担当教員	山路　麻佳						
授業概要	保育現場において、うたあそびは子どもの生活や遊びの中で多く親しまれ、子どもの発達に重要な役割を担っている。挨拶や歯磨き、絵本を読む前の導入手段、季節を感じられるうた、他者とのふれあい遊びなど様々な場面で取り入れることにより、子どもの豊かな感性や自発性、コミュニケーション力、協調性を養うことができる。保育者はうたあそびの役割を理解し、子どもの発達段階や生活環境との関連性から適切なうたあそびを取り入れることが必要である。 本科目では基本的な発声を学び、表現豊かに歌唱する力を身につける。また、子どもの発達段階や環境に応じて適切に選曲をし、活動を楽しみながら展開することができるようグループワークを通して実践する。						
授業形態	演習			授業方法	グループワーク		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	1．基本的な発声・音程・リズム、和声・曲想表現をいかした歌唱することができる。 2．正しく歌詞を理解して曲想を考え、表現豊かに歌唱することができる。 3．子どもの発達段階や生活環境との関連性から、適切なうたあそびを計画し実践することができる。 4．グループワークを通して自発性やコミュニケーション力、協調性を育み、感受したことを伝えることができる。 歌詞を理解し、正しい音程・リズムで歌唱することができる。子どもの発達段階や生活環境など場面に合ったうたあそびを選曲し実践することができる。
理想的レベル	自ら曲想を考え、表現豊かに歌うことができる。また、子どもの発達段階や生活環境など場面に合ったうたあそびを自ら選曲し、楽しみながら活動を展開することができる。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験		
小テスト		
レポート	20%	
発表（口頭、プレゼンテーション）	50%	
レポート外の提出物		
その他	30%	授業への積極的な参加姿勢

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	-	DP2	-	DP3	-	DP4	-	DP5	○	ナンバリング	CH11333J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
授業内で取り上げた曲を用いて練習 図書館などを利用し、授業で取り上げた曲以外について調べて練習	1

授業計画	
第 1 回	テーマ：オリエンテーション

	授業概要について説明し、履修形態や授業の目的、達成の目安、評価の内容と方法を理解する。 歌の歴史や声について学び、うたあそびの意義を考える。
第 2 回	テーマ：はじまりとおわりのうたあそび 「はじまるよはじまるよ」「あなたのおなまえは」「おかたづけ」他
第 3 回	テーマ：手を使ったうたあそび 「グーチョキパーでなにつくろう」「まほうのつえ」「トントントントンひげじいさん」他
第 4 回	テーマ：身体を使ったうたあそび 「おちたおちた」「おにのパンツ」「小さな庭」他
第 5 回	テーマ：食べものが出てくるうたあそび 「おべんとうばこのうた」「やさいのうた」「パン屋さんにおかいもの」他
第 6 回	テーマ：動物が出てくるうたあそび 「のねずみ」「キャベツのなかから」「のぼるよコアラ」他
第 7 回	テーマ：わらべうたから 「あがりめさがりめ」「おてらのおしょうさん」「こどもとこどもがけんかして」他
第 8 回	テーマ：教材研究と実践 グループごとに題材を決め、歌唱・身体表現を検討する。
第 9 回	テーマ：発表 グループごとに発表を行う。 意見を出し合い今後の課題について検討する。
第 10 回	テーマ：行事や生活のうた 「おはようのうた」「はをみがきましょう」「バスごっこ」他
第 11 回	テーマ：季節のうた（春） 「おはながわらった」「とけいのうた」「こいのぼり」他
第 12 回	テーマ：季節のうた（夏） 「あめふりくまのこ」「かたつむり」「おばけなんてないさ」他 最終授業で行う発表の課題曲について理解する。
第 13 回	テーマ：季節のうた（秋） 「いもほりのうた」「やきいもグーチーパー」「まつぼっくり」他
第 14 回	テーマ：季節のうた（冬） 「あわてんぼうのサンタクロース」「うれしいひなまつり」「たこのうた」他
第 15 回	テーマ：発表とまとめ 発表を行った後、授業の振り返りを行う。
テキスト	木村鈴代『新 たのしいこどものうたあそび－現場で活かせる保育実践－第二版』同文書院 小林 美実『こどものうた 100』チャイルド本社
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	必要に応じてプリントを配布します。

課題に対するフィードバックの方法	レポートはコメントをつけて返却します。
学生へのメッセージ・コメント	前期授業(音楽の基礎)で行ったソルフェージュを復習しておいてください。 歌うことや音楽自体が苦手という人もいるかもしれませんが、これまで歌と思わずに自然と口ずさみながら遊んできた曲があると思います。そうした身近なうたあそびから授業内で実践していくので、まずは楽しんでみる意識で授業に臨みましょう。積極的に授業へ参加してください。 また、ピアノと同様に歌も練習によって上達していくので日々の練習に取り組みましょう。